

平成29年度 (平成28年度事業)

美深町まち・ひと・しごと創生総合戦略

評 価 報 告 書

平成29年度まち・ひと・しごと創生総合戦略評価（平成28年度事業）について、次のとおり報告する。

平成29年9月1日

美深町まち・ひと・しごと創生推進会議 会長 水本 守

1 評価の対象

まち・ひと・しごと創生総合戦略に搭載された具体的な施策のうち4-1の主な事業について評価した。

2 評価の方法

まち・ひと・しごと創生総合戦略における基本目標1～4に分類される4-1の主な事務事業について、評価調書及び補足説明によって、3部会において担当する施策を4段階で評価した。

※1 美深町まち・ひと・しごと創生推進委員会 会長 水本 守、副会長 齊藤 宏行 (◎は部会長 ○は副部会長)	
福祉教育部会	◎佐竹 仁 ○堀 博明、深川 勇、鈴木正美、谷口 昇、田中 仁
産業経済部会	◎松本 芳則 ○斎藤 雄太、水本 守、菅野 勝義、加川可名子
環境行財政部会	◎齊藤 宏行 ○雪田 明美、佐藤 智三、荒木 久恵、長谷川健一

※2 美深町まち・ひと・しごと創生推進委員会本部	
福祉教育部会	◎玉置 一広 ○望月 清貴、藤原 裕子
産業経済部会	◎草野 孝治 ○杉本 力、政岡 英司
環境行財政部会	◎羽野 保則 ○川端 秀司、渡邊 英行、西村 直志

※3 三部会の評価施策数	
福祉教育部会	11 事務事業
産業経済部会	14 事務事業
環境行財政部会	16 事務事業

※4 四段階評価	
A評価 期待どおりの成果が得られた	B評価 一応の成果が見られた
C評価 あまり効果が見られない	D評価 全く成果が見られない

3 評価の経過

美深町まち・ひと・しごと創生推進会議設置要綱に基づき、次のとおり評価を実施した。

- ・ 8月 8日 第1回まち・ひと・しごと創生推進会議
- ・ 8月 8日 第1回福祉教育部会・第1回産業経済部会
- ・ 8月10日 第2回福祉教育部会
- ・ 8月14日 第1回環境行財政部会
- ・ 8月21日 第2回産業経済部会
- ・ 8月22日 第2回環境行財政部会
- ・ 9月 1日 第2回まち・ひと・しごと創生推進会議・第3回各部会開催

4 評価の結果

4-1 事業のうち A 評価は 8 事業 [19.5%]、B 評価は 31 事業 [80.5%]、C 評価は 1 事業 [2.4%]、D 評価はなく、評価なしが 1 事業 [2.4%] となった。

評価結果では、A・B 評価が 95% を占めているが、まち・ひと・しごと創生総合戦略の実施による目標達成（事業による効果・検証）には、一定程度の期間が必要であり、人口ビジョン、基本目標、KPI 達成に向けて今後も継続して取り組みを進めていかなければならない。

基本目標ごとに区分した評価結果の概要については、以下のとおり。

基本目標 1	<p>国の基本目標① 地方における安定した雇用を創出する</p> <p>まちの特性を活かした産業振興と魅力ある雇用の場の確保・創出、拡大</p>
<p>(1) 職業として選択できる魅力ある農業の実現</p> <p>● 農業担い手の育成・確保</p> <p>農業経営者の高齢化と後継者不足は喫緊の課題である。担い手の育成・確保については、農業経営継承組織との連携によりスムーズな経営継承が図られているほか、農業研修生等も有効活用されている。農業体験実習生が新規就農を目指すなど、今後の担い手確保につながるものと期待しており、持続ある美深農業の確立を目指すべく、引き続き、関係機関・受入指導組織がより連携し推進に努められたい。</p> <p>● 付加価値向上に向けた 6 次産業化の推進</p> <p>農業振興センターにおいて 6 次産業化を目指す生産者団体等に対する連携・支援として、美深町産農畜産物を活用した食品加工研究情報交換会が開催された。加工品開発や事業化を試みる町内事業所等との連携協力を今後も継続されたい。</p> <p>販路拡大 PR などの道内外へのキャンペーンの実施やイベントへの参加などを通じ構成団体の特産品の販路拡大に対する共通認識・意識高揚につながっており、販路拡大に踏み出すための足がかりとなる支援になっている。また、販路拡大はすぐに結果にあらわれるものではないことから継続した事業展開が重要であり、検証を行いながら着実に継続実施する必要がある。</p> <p>(2) 魅力ある雇用環境を整備する</p> <p>● チョウザメ養殖産業の振興</p> <p>地方創生加速化交付金を活用し、チョウザメ養殖施設建設に向けた施設設計委託、用地測量、買収などが行われた。また、平行して町内民間企業を中心とした養殖施設建設補助、チョウザメ地域資源ブランド化事業も実施された。雇用拡大、地域産業活性化など KPI 達成のためには中～長期的なスパンを要するが、平成 28 年度は概ね目標達成に向けた事業が実施されたと評価する。</p> <p>● 建設産業等活性化の促進</p> <p>平成 26 年度に「商工業担い手支援条例」が施行され積極的に活用されてきており、商工業経営の安定と定着化が図られており、基本目標 1 「魅力ある雇用の場の確保・創出」のための核となる事業であり、今後も商工会との連携により継続を望む。</p> <p>● 保健・医療・介護・福祉の人材確保</p> <p>看護師等の専門職の養成にも助成が行われており、政策的には素晴らしい制度である。それらの卒業生が美深町の医療・福祉機関に U ターンで働いてくれれば良い。地域条件もあり厳しい部分もあるが、それらを誘導する政策を求めたい。</p>	

(3)創業支援、新産業の振興

●商工業担い手の支援と地場産業創出

商工業担い手支援条例による補助金を活用し、平成28年度は2件の新規開業実績があり、新規開業、経営承継、担い手育成、確保をはじめ、人材育成事業を通じ従業員確保や技術向上につながっている。

●地域活動の活性化促進

美深町商工会青年部において「かぼちゃどぶろく」、「かぼちゃ甘酒」が商品開発されており、平成28年度にはJA青年部と共同で、視察研修事業と研修事業報告会を開催するなど、町の活性化が図られてきている。今後も新たな特産品の開発、定着化や産業化につながるよう期待する。

住民活動活性化の支援では、個別グループでの活用が増えており、小さな規模ではあるが事業展開され地域の活性化に結びついている。

(4)卸売・小売業、建設業の活性化

●商工業活動の支援

景気低迷等により経営環境が厳しい現状の中、平成28年度においては2回のプレミアム商品券発行事業と、子育て支援事業が行われ商店街の活性化が図られた。

また、中小企業に対して信用保証料と利子補給の支援を行うことにより安定した経営を行うことができ、経営環境改善の推進により商工会員数の維持に寄与している。

●林産業活性化推進事業

健全な森林は、林産業の振興だけではなく森林の持つ多面的機能である地球温暖化防止や治水機能強化など果たす役割は極めて大きい。しかしながら、その効果は数値や実際の目視は確認できなく事業評価は難しい。

また、森林は50年から80年の長きにわたり保育～伐採～造林といった作業を繰り返し、後世に引き継ぐ事業でもある。そうしたなか森林所有者の負担だけではなく公共補助等を投じて事業を推進していくことは必要不可欠である。

林業の振興については、高性能林業機械の導入など将来を見据えた経営も芽生えており、継続した未来をつなぐ森づくり推進事業・林道網整備等の展開と担い手対策や緑化意識の高揚などのソフト事業が一体となった林産業振興を今後も期待する。

新エネルギー普及事業については、びふか温泉の木質バイオマスボイラーの導入や、美深中学校における太陽光パネル設置により温室効果ガス排出抑制が図られていると評価するが、木質ボイラー運用に係る効率性を向上させる手法を継続して検討していく必要がある。

数値目標	基準値	目標値
町内企業就労者数	1,677人 【2012年業種別従業者数】	1,727人
H28 数値目標達成状況	1,617人	達成率 93.6%

(1) 移住定住を促進する

●移住・定住対策の促進

移住住宅については、新たに販売用住宅の整備も進められたことから、PRの方法も研究しながら工夫を凝らし積極的に進め、移住体験の利用促進とあわせて取り組み、本町への移住促進や観光部門の交流人口の増加を図りたい。

地域おこし協力隊員について、具体的な目標を持ち取り組んでいる。定住に向けた支援策も検討されたい。

また、集落支援員については、ハープ講座等の開設や農業支援塾の運営など専門性を活かした事業の推進を担っており、今後もその活躍に期待する。

なお、地域おこし協力隊においては、その他の分野での活用も検討されたい。

●恩根内基盤整備の推進

恩根内市街地活性化事業では、事業効果の試算から木質バイオマスプラントの導入は断念したが、遊休施設の改修による市街地の環境整備が図られた。

今後、町外からの移住者や農業研修生、地域の高齢者など定住定着に向けて、横断的に連携し事業展開されたい。

(2) 観光資源を活かし誘客促進を図る

●魅力ある観光地づくりの推進

観光協会を中心に、地域の観光情報が広く発信されてきていると評価できる。

さらに、美深町観光大使が就任され札幌からのツアーや美深町でのコンサート開催、ラジオを通じて幅広いPRと観光客の来町が行われている。また、美深町の観光拠点である道の駅、びふかアイランドについては、魅力ある観光資源を活用し、一層の観光の推進と観光客の誘致が図られることを期待する。

(3) 交流人口の拡大を図る

●美深アウトドアスタイルの確立

フロンティアアドベンチャーについては、びふかスポーツクラブでの継続運営とボランティア団体の高齢化などの協力体制が築けるかが課題であるが、28年間取組まれて来た事業であり、子どもたちが非日常生活を送る大変貴重な体験活動である。

●エアリアル事業

エアリアル事業も10年が経過し、来年開催の韓国平昌（ピョンチャン）五輪に向けて、美深町からのオリンピック選手の出場へ期待が高まっている。また、海外チームの合宿誘致は、町民がオリンピックに触れる貴重な機会である。

●地域間交流活動の推進

物産PR販売をはじめとする地域間交流活動の推進や姉妹町添田町との交流活動において、若い世代の町民が新たに関わる場面も増えており、今後の活動に期待が持てる。産学官連携事業では、成果をあげている北海道大学との連携を更に進めるとともに、産学官の枠を更に広げ、金融機関の参加も検討してはどうか。

一方で、東京及び札幌のふるさと会における若い人の参加が進んでいないことから、個人の意識の問題もあり難しいが、様々な機会を活用して若い世代の美深町出身者の加入促進を図っていく必要がある。

数値目標	基準値	目標値
観光客年間入込数	41.1万人 【2014年度】	42.3万人
H28 数値目標達成状況	40.0万人	達成率 94.6%

若い世代の結婚、妊娠・出産、子育ての希望がかなえられる

(1) 住みたいまちへの住環境整備

● 快適な住まい環境の整備促進

快適な住まい環境と商工業振興事業については、平成28年度から町産材利用に係る補助の拡充と住宅解体補助の増額を図り、地元建設業や関連業界などの事業活動が活性化されるとともに、住環境の向上が図られてきている。

● 少子高齢化に対応した住宅の整備

公営住宅等の建物の老朽化や劣化防止対策については、計画的な維持管理、改修等が実施され、長寿命化が図られているものと評価する。今後も日常的に保守点検や定期点検等を行い、耐久性の向上等を図る改善に努められたい。

なお、一部の団地では老朽化が進み、空き家があると共に、除雪の問題など課題が多いところもあり、団地全体の整備が必要である。

(2) 教育環境の整備・充実

● 未来の人づくりサポート事業

美深高校の存続については、返済不要の奨学金制度の効果もあり、平成29年度の入学者数が29名と増えている。また、平成29年度には下宿整備も行うなど、高校の存続活動は継続的に取り組まれており評価できる。

教育施設では、美深小中学校の建替え、学校給食センター新築と整備は終えている。

今後の課題は仁宇布小中学校の建替えであり、山村留学の在り方と合わせ懇談会で議論を進めており、会議での意見を参考に慎重に方向性を決めて欲しい。

こどもスポーツ未来基金では、美深町から多種目にわたり全道、全国大会への出場選手も輩出されており、選手強化資金として充実した内容となっており、少年団・育成団体から高い評価を得ている。

(3) 切れ目ない子育て支援

● 後継者育成・婚活等の総合支援

独身農業者の成婚に向けて、民間の結婚相談所と連携してお見合い交流会の開催している。さらに、結婚相談所への登録等を進められており今後も継続されたい。

● 健やかな子育ての支援

美深町の子育て支援については、特に充実しており、町民からも優れていると評価が高い。不妊治療助成も成果が現れており、高く評価できる。

数値目標	基準値	目標値
合計特殊出生率	1.36人 【2015年度】	1.51人
H28 数値目標達成状況	1.20人	達成率 79.5%

基本目標 4	国の基本目標④ 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する 安全安心で快適な生活を守り、絆の強い地域をつくる
--------	--

(1) 絆の強い活力あふれる地域の創出

●地域の元気づくり対策

各自治会が策定する地域ビジョンに基づき、合計3自治会において交付金事業が実施された。平成28年度末時点での地域計画策定未自治会へ対しては、地域担当員制度を活用しながら全ての自治会で計画が制定されるよう取り組みを促されたい。

(2) 担い手となる多様な人材の育成

●ひとづくりの充実

地域人材育成事業では、農業と商工業の青年部が自主的に研修を計画し、商品開発の研究を行うなど今後の活動に期待が持てる。

なお、新規起業に向けた取り組みについて、更に推進されたい。

(3) 快適で利便性の高い暮らし

●公共交通の確保維持のと整備

仁宇布線のデマンドバスや町内のフレンドバスが、特に高齢者の足として定着しており評価できるが、乗車人数が減少傾向にあることから、サービスや利便性向上に向けて取り組むとともに、経費節減と安定運行に努めてほしい。

●安心できる地域保健・医療・福祉の確保

保健センターの検診の状況を見ると、きめ細かく検診案内などの通知が届く。

「受けてください」と案内して、それでも「受けたくない」方がいることにより、受診率が上がらないのであれば、ある程度は仕方がないのでは？

一方、へき地診療所を確保することは、今後も重要なことである。地域に元気なお年寄りが増えることにより受診者数が増えなければ良いことでもある。問題は受診者数だけでなく、へき地診療所の体制の将来的な継続である。

●生きがいをもち、健やかで安心な暮らしができる環境づくり

高齢者福祉対策は、それなりに取り組まれていると評価できる。除雪サービス支援必要世帯の支援率も100%であり評価できるが、安定的なサービス提供体制が課題である。個人情報の関係で難しい部分もあるが、地域が独居老人の情報を把握し、自治会、民生委員が連携して見守り体制や災害時の対応を確保しなければならない。

新しい公共事業交付金では、民間団体および行政による協議会において、高齢者の買い物支援に取り組み、毎年利用者が増えており有効に機能している。新たな分野への拡大も検討し事業推進されたい。

数値目標	基準値	目標値
地域計画策定自治会数	8自治会 【2015年(H27)当初】	17自治会
H28 数値目標達成状況	11自治会	達成率 64.7%

資 料 編

平成28年度まち・ひと・しごと創生総合戦略事業評価一覧

1 (基本目標1)		グループ	新・継	まちひとしごと創生推進会議による評価 (町民評価)	まちひとしごと創生推進本部による評価 (行政内部評価)
【国の基本目標① 地域における安定した雇用を創出する】 ◆まちの特性を活かした産業振興と魅力ある雇用の場の確保・創出、拡大					
事業No.	事務・事業名				
(1) 職業として選択できる魅力ある農業の実現					
●農業担い手の育成・確保					
2-1-3	222 新規就農者補助事業	農業	継続	A	A
2-1-3	223 担い手育成・確保対策事業	農業	継続	A	A
●付加価値向上に向けた6次産業化の推進					
5-2-2	507 地域活動活性化促進事業	企画	継続	B	B
2-1-2	217 農畜産物等販路拡大PR事業	農業	継続	B	B
2-1-2	216 農業振興センター管理運営事業	振興C	継続	B	B
(2) 魅力ある雇用環境の整備					
●チョウザメ養殖産業の振興					
2-4-1	261 チョウザメ振興事業	企画	新規	B	B
●建設産業等活性化の促進					
2-5-2	260 商工業担い手支援事業	企画	継続	B	B
●保健・医療・介護・福祉の人材確保					
4-1-2	408 医療・福祉体制整備事業	保健福祉	継続	B	B
(3) 創業支援、新産業の振興					
●商工業担い手の支援と地場産業創出					
2-5-2	260 商工業担い手支援事業	企画	継続	B	B
2-5-2	252 起業家育成支援事業	企画	継続	C	C
●地域活動の活性化促進					
5-2-2	507 地域活動活性化促進事業	企画	継続	B	B
(4) 卸売・小売業、建設業の活性化					
●商工業活動の支援					
2-3-1	239 商工会活動支援事業	企画	継続	B	B
2-3-1	241 中小企業支援事業	企画	継続	B	B
●林産業活性化推進事業					
2-2-1	234 林業経営強化事業	建設林務	継続	B	B
1-1-1	101 新エネルギー普及事業	企画	継続	B	B
2 (基本目標2)		グループ	新・継	まちひとしごと創生推進会議による評価 (町民評価)	まちひとしごと創生推進本部による評価 (行政内部評価)
【国の基本目標② 地域への新しいひとの流れをつくる】 ◆美しい自然環境、豊かな地域資源を活かし、新しい人の流れをつくる					
事業No.	事務・事業名				
(1) 移住定住を促進する					
●移住・定住対策の促進					
1-3-3	135 移住定住推進対策事業(旧ちょっと暮らし体験推進事業)	企画	継続	A	A
5-1-1	501 地域支援対策事業	企画	継続	B	B
●恩根内基盤整備の推進					
1-1-1	177 恩根内市街地活性化事業	水道住宅	新規	B	B
(2) 観光資源を活かし誘客促進を図る					
●魅力ある観光地づくりの推進					
2-4-1	247 観光PRとイベント支援事業	企画	継続	B	B
2-4-1	249 魅力ある観光地づくり推進事業	企画	継続	B	B
(3) 交流人口の拡大を図る					
●美深アウトドアスタイルの確立					
3-4-2	327 青少年自然体験事業	教育	継続	B	B
●エアリアル推進事業					
3-6-1	335 エアリアル推進事業	教育	継続	B	B
●地域間交流活動の推進					
5-4-1	510 地域交流促進事業	企画	継続	B	B
5-4-3	512 ふるさと交流事業	企画	継続	B	B
5-4-1	529 産学官連携活性化事業	企画	新規	B	B

平成28年度まち・ひと・しごと創生総合戦略事業評価一覧

3 (基本目標3)		グループ	新・継	まちひとしごと創生推進会議による評価 (町民評価)	まちひとしごと創生推進本部による評価 (行政内部評価)
事業No.	事務・事業名				
(1) 住みたいまちへの環境整備					
●快適な住まい環境の整備促進					
2-3-2	259 快適な住まい環境と商工業振興事業	企画	継続	A	A
●少子高齢化に対応した住宅の整備					
1-3-2	134 公営住宅長寿命化事業	水道住宅	継続	B	B
(2) 環境教育の整備・充実					
●未来の人づくりサポート事業					
3-2-6	344 美深高校卒業生就学支援事業	教育	新規	-	-
3-6-1	343 こどもスポーツ未来基金事業	教育	継続	A	A
(3) 切れ目ない子育て支援					
●後継者育成・婚活等の総合支援					
2-1-3	228 農業後継者育成推進協議会事業	農業委員会	継続	B	B
●健やかな子育ての支援					
4-1-1	406 母子保健対策事業	保健福祉	継続	B	B
4-2-1	413 不妊治療費助成事業	保健福祉	継続	B	B
4-2-3	415 乳幼児等医療費助成事業	生活環境	継続	A	A
4 (基本目標4)		グループ	新・継	まちひとしごと創生推進会議による評価 (町民評価)	まちひとしごと創生推進本部による評価 (行政内部評価)
事業No.	事務・事業名				
(1) 絆の強い活力あふれる地域の創出					
●地域の元気づくり対策					
5-2-1	506 自治会活動推進事業	企画	継続	B	B
(2) 担い手となる多様な人材の育成					
●ひとづくりの充実					
5-1-1	502 地域人材育成事業	企画	継続	B	B
(3) 快適で利便性の高い暮らし					
●公共交通の確保維持と整備					
1-2-1	119 公共交通活性化協議会負担金	企画	継続	B	B
1-2-1	120 市街地コミュニティバス運行事業	生活環境	継続	B	B
1-2-1	121 生活バス路線仁宇布線運行事業	生活環境	継続	B	B
1-2-1	122 生活交通路線恩根内線運行事業	生活環境	継続	A	A
●安心できる地域保健・医療・福祉の確保					
4-1-1	401 各種検診事業	保健福祉	継続	B	B
4-1-2	407 へき地診療所確保事業	保健福祉	継続	B	B
●生きがいをもち、健やかで安心な暮らしができる環境づくり					
4-3-4	434 介護予防生活支援事業	保健福祉	継続	B	B
5-1-1	524 新しい公共事業交付金	企画	継続	A	A

まち・ひと・しごと総合戦略 数値目標・KPI

市町村名 美深町

(年度) 基準値	(年度) 実績	(年度) 数値目標	進捗率	報告の取組に係るもの(該当に○)
----------	---------	-----------	-----	------------------

※ 実績及び数値目標については、直近(最新)の数値を記載すること

【基本目標1 まちの特性を活かした産業振興と魅力ある雇用の場の確保・創出、拡大】

数値目標	町内企業就労者数(人)	H26	1,677	H28	1,617	H31	1,727	93.6%
KPI	後継者への経営継承促進(件)	H26	2	H28	6	H31	2	300.0%
	町外からの新規新規就農者受入(組)	H26	1	H28	2	H31	6	33.3%
	新商品の開発、販売支援(件)	H26	0	H28	0	H31	2	0.0%
	関連産業の新規雇用(人)	H26	0	H28	0	H31	2	0.0%
	第2次産業従事者数の維持(人)	H26	279	H28	283	H31	279	101.4%
	修学資金貸付事業を利用した新規町内就業(名)	H26	0	H28	1	H31	3	33.3%
	新規開業(件)	H26	3	H28	2	H31	4	50.0%
	事業継承(件)	H26	4	H28	0	H31	1	0.0%
	異業種進出(件)	H26	0	H28	0	H31	1	0.0%
	地域特産品の研究開発(件)	H26	1	H28	0	H31	2	0.0%
	商工会員数の維持(人)	H26	177	H28	175	H31	177	98.9%
	町内における町産材木材自給率(%)	H26	-	H28	-	H31	50	-

【基本目標2 美しい自然環境、豊かな地域資源を活かし、新しい人の流れをつくる】

数値目標	観光客年間入込数(万人)	H26	41.1	H28	40.0	H31	42.3	94.6%
KPI	体験利用者の増加(組)	H26		H28	9	H31	16	56.3%
	移住者増(件)	H26	0	H28	3	H31	3	100.0%
	集落からの転居者抑制(組)	H26	0	H28	0	H31	1	0.0%
	集落への移住者(組)	H26	0	H28	0	H31	1	0.0%
	魅力ある観光地づくりの推進(%)	H26	100	H28	95	H31	103	92.2%
	子どもの自然体験活動人数(人)	H26	22	H28	170	H31	100	170.0%
	交流施設利用人数(人)	H26	-	H28	187	H31	200	93.5%
	交流人口(来町者)人数(人)	H26	1,612	H28	1,161	H31	1,300	89.3%
	エアリアルチーム登録数(人)	H26	17	H28	13	H31	15	86.7%
	全日本指定強化選手(人)	H26	4	H28	3	H31	3	100.0%
	交流人口増加(人)	H26	114	H28	107	H31	100	107.0%

【基本目標3 若い世代の結婚、妊娠・出産、子育ての希望がかなえられる】

数値目標	合計特殊出生率(人)	H26	1.36	H28	1.20	H31	1.51	79.5%
KPI	住宅新築の促進(戸)	H26	4	H28	5	H31	10	50.0%
	町有住宅の改修整備(戸)	H26	0	H28	4	H31	4	100.0%
	山村留学生(人)	H26	15	H28	13	H31	2	650.0%
	大学等卒業後のUターン(人)	H26	0	H28	0	H31	2	0.0%
	スポーツ大会上位入賞(件)	H26	17	H28	27	H31	15	180.0%
	成婚者数(組)	H26	1	H28	1	H31	5	20.0%
	妊産婦、乳幼児の健診受診率(%)	H26	98.9	H28	98.2	H31	100	0.982

【基本目標4 安全安心で快適な生活を守り、絆の強い地域をつくる】

数値目標	地域計画策定自治会数(自治会)	H26	8	H28	11	H31	17	64.7%
KPI	地域計画の策定自治会数(自治会)	H26	8	H28	11	H31	17	64.7%
	新規起業数(件)	H26	0	H28	0	H31	1	0.0%
	町内公共交通の利用者数増(人)	H26	8,940	H28	5,709	H31	7,050	81.0%
	特定健診受診率(国保)(%)	H26		H28		H31	60	0.0%
	恩根内診療所年間延べ利用(名)	H26	184	H28	132	H31	180	73.3%
	除雪サービス:支援必要世帯への支持率(%)	H26	100	H28	100	H31	100	100.0%
	買い物支援による外出頻度の向上(人)	H26	387	H28	820	H31	1,200	68.3%

